



人と、木と、おけと



01

4
2022

広報おけと
KETO



置戸町の小中一貫教育の取り組み

ふるさと教育・おけと学と乗り入れ授業を紹介します



置戸町の小中一貫教育は、平成28年度から準備を始め、令和2年度にスタートを切りました。小学校と中学校は、文化や指導体制などに違いがあり、校舎も離れていることから、コミュニケーションを十分に図り、お互いの情報を知り、共有することを焦点に始めました。小中一貫の取り組み状況とこれからの目指すところについて紹介します。

秋岡コレクションの手仕事道具を学ぶ小学6年生（昨年12月）

ふるさと教育とは

9年間を見通した「ふるさと教育」の本格施行が、令和4年度から始まります。これまでも小中学校では、それぞれふるさと教育を行ってきましたが、ふるさとである置戸町について、より深い学びができるよう、系統立てたカリキュラムを編成しました。

ふるさと教育は、5つのテーマから構成されており、どま工房秋岡コレクション主任研究員的那珂琴絵さんによる秋岡コレクションを活用した授業や、防災・福祉・自然・文化歴史などの置戸の身近にあるものを教材にし、子どもたちが地域の皆さんにもご協力をいただきながら、学んでいく内容となっています。今回はふるさと教育の一つである秋岡コレ

クションの出前授業について、研究員的那珂琴絵さんにお話を伺いました。

——ふるさと教育としてどのような授業を行っていますか？



小学4年生～中学3年生が対象で、年1回実施しています。オケクラフトの生みの親である秋岡芳夫さんが所蔵し、町に寄贈された約18,000点の秋岡コレクションを通して、日本の伝統工芸品や職人の道具、生活用具など地域で異な

る資料の特徴を知ること、なぜそれがこの地域で生まれたのか等、「生まれ育った環境への愛着」につながるように学習を進めています。

小学生には、私から「教える」学習が多いですが、中学生からは、自分たちの生活に照らし合わせて「考える」学習を行っています。

「触ることがメイン」としている資料ではありませんが、なかなか触る機会がないと思います。この機会だからこそ触れるものをたくさん準備しておきたいと考えています。

——授業に対して子どもたちの反応はどうですか？

6年生の授業で、木の匂いを嗅いでもらう場面がありました。オケクラフトで使う松にも匂いがありますが、^{ひのき}檜など木には香りの強いものもあります。例えば、^{くすのき}楠から抽出した^{しょうのう}樟脳の香りは、最近の生活の中にはないだろうなど。嗅ぎなれないから「臭い」という感覚になることが面白いと思います。

授業の最後に、学習の感想や資料の絵など好きなものをかいてもらう時間があります。小学生くらいだと視野が狭く、意図しなくても共通のものに面白さを感じるなど私の勝手な予想もあったのですが、みんな違うことを描いてくれます。

——授業の中で一番伝えたいこと

秋岡コレクションの資料を実際に生活の中で使っているギリギリの年代が30代前半、20代後半くらいの方。小学生ぐらいのときに見覚えがあるかもしれない年代だと思うんです。今の小学4年生くらいだと、これが何なのか何に使うのかわからない

という年代だと思います。

例えば、オケクラフトの由来のひとつには、曲げ桶の「オケ」と「クラフト」を合わせた言葉とありますが、その曲げ桶を知らない子もいます。桶を家で使わないことも多く、いよいよものを持ってこないとだめかなと思っています。

例えを言ってもそれが何なのかもわからないという子たちが多い年代になってきていて、生活の中で触れる機会がないから興味すら湧かない。その興味が湧かないっていうのを何とか秋岡コレクションに触ってもらって、見たことのないものが「今で例えるとこれだよ」というようにつながってくれると「じゃあ、なんでこれはこう変わっていったのか」と、興味をつなげていけたらと思います。知らないことを知らないままではなく、知らないことを知って、さらに次へという風に興味の幅が広がってくれたらいいなと思っています。

——秋岡コレクションを伝えるために

秋岡コレクションは、全国各地の資料があります。置戸の郷土資料と見比べたりすることで、置戸町に興味を湧いたり、全国のものと比較することができ、面白い資料です。

秋岡コレクションも伝えないとわからない、何がすごいかわからない、ということがもったいないと思います。

秋岡コレクションの話は、大人の方にも聞いてほしい内容です。ふるさと教育に沿った展示会など皆さんに紹介する機会を考えています。

ふるさと教育でおけとを知る！



小学5年生森の学習



小学6年生常呂川学習



中学1年生石器発掘体験学習

置戸は黒曜石
の産地です

英語の乗り入れ授業について 私がお答えします！



むこうやま ゆい
向山 唯さん

置戸中学校
1年担任
英語教諭

※学年の表記は、インタビュー当時（令和4年2月現在）のものです。

——授業の頻度はどのくらいありますか？

令和2年度は、5年生（令和3年度現在の6年生）の英語の乗り入れ授業を2回行いました。令和3年度からは月1回、5年生または6年生に乗り入れ授業を行っています。

——授業の事前準備はありますか？

授業は主に教科書に沿って行っています。割り当たっている単元を確認した後、授業計画を担当の先生に確認してもらっています。

昨年度から小学校5・6年生で英語が教科化されたため、中学校で教えている経験を生かして、少しでも手助けができれば、何かプラスになればと思い授業をさせてもらっています。

——どのような授業を行っていますか？

中学校では、文法習得や読み物教材を扱う時間が多いですが、小学校では、聞く・話す活動が多く行います。そのため、座って話を聞くだけではなく、いろいろな活動をする人が多いです。

英語を学ぶのが楽しく、中学校へ行っても今の勉強がつながっていることが実感できる授業をしようと心がけています。

——授業に対して子どもたちの反応はどうですか？授業を行うことで、どのような成果やメリットがありますか？

授業に対する反応はとても良いです。途中で諦めたりする子もいません。英語が得意な子と苦手な子がいると思いますが、自分なりに考えたことをがんばって話したり書いたりしようとする姿勢が良いです。

成果は来年度、現在の6年生が中学校に進学したときに感じられるのではないかと思います。すでに知っている先生が中学校にいるという点で、不安が少しでも減るといいなと思っています。私としても、授業を通して子どもたちと接してきたので、中学校で授業がしやすいと思います。

また、乗り入れ授業をする中で「小学校では、こんなにレベルの高い勉強をしているんだ」と新しい発見があり、中学校での教え方を考え直す機会にもなり、私自身も良い経験をさせてもらっています。小学校で習ったことを振り返るように教えることができれば、中1ギャップ[※]も減るのではないかと思います。

学習について

小学校高学年の英語の授業では、中学校英語教諭が月1回のペースで乗り入れ授業を行っています。中学校教諭による専門的な授業を受けることの効果のほか、子どもたちが抵抗なく小学校から中学校の授業へ移行できることを期待しています。

令和4年度には、中学校教諭による英語以外の出前授業を実施する予定です。

生活について

授業や家庭学習における態度や挨拶などの目標をまとめた「学習スタンダード」と、日々の生活習慣や決まりなどの目標をまとめた「生活スタンダー

ド」を作成。小中学校の9年間を通した学習態度と生活スタイルを子どもたちに示し、一貫性をもった指導を行います。このことにより、中学校に進学した際の不安や戸惑いの解消に努めています。

また、生徒指導に関する情報を小中学校の教職員が共有することにより、より効果的な対応が期待できます。

令和4年度は、スマートフォンやゲームなどの利用に対する外部講師を招いた指導授業を、小学校高学年と中学生が合同で受ける予定となっています。



——今後取り組んでいきたいことはありますか？

現在はコロナ禍のため対面では難しいですが、小中合同の授業などができたら面白いと思います。また、ほかの学年でも乗り入れ授業ができたら、小学校の先生の負担も減らせるのではないかと思います。小学校での教科担任制が進むといいなと思っています。

北見市など大きな市では難しいですが、置戸町のように、町全体で子どもの成長を見届けるスタンスがあれば、小中連携はとても大切だと思います。ですので、今後も積極的に連携を図っていきたいと思っています。また、以前参加した研修会では、小中連携だけではなく、中高連携の必要性についても話がありました。機会があれば、高校の英語の授業を参観させていただくなど、小中高の連携ができればいいなと考えています。

※中1ギャップ…児童が、小学校から中学校への進学において、新しい環境での学習や生活にうまく対応できないこと。

おわりに

本格的にスタートを切った小中一貫の取り組みは、小中の特性を尊重しつつ、評価と改善を図りながら内容の充実に努めます。

また、地域コーディネーター及び学校運営協議会で広く意見をいただき、より良い学びができるよう、地域全体で支えていきます。

子どもたちが大きくなり、進学や就職で一度は置戸町を離れたとしても、「やっぱり故郷が一番」と思ってもらえるように取り組んでいきます。

■お問い合わせ

町教育委員会学校教育課（☎52-3316）

6年生の子どもたちに質問です

①秋岡コレクションを学んだ感想②秋岡コレクションを学ぶことで、興味が広がりましたか？③常呂川学習や森林散策の感想④置戸町についてどう思っていますか？⑤英語の乗り入れ授業の感想⑥中学校への期待や不安について

※お二人は春から中学校へ進級します。



しまむら 島村
あおい 葵さん

①槍^{やり}鉋^{かん}とか初めて見るものがありました。外国にも鉋があることを知りました。②秋岡さんが三菱鉛筆をデザインした人だと知ったこと。家で絵を描くのに使っている鉛筆だったので、親

近感がわきました。③ラフティングは、いつも橋の上から見ているときと違い、川が広いなと思いました。④山に囲まれているから、桜や紅葉など季節によって山の風景が変わるのがすごい好きです。⑤いつもと授業のやり方や雰囲気が違って、楽しく勉強できます。⑥算数が苦手だから数学になることと、先輩たちと仲良くできるか心配です。



たなか まなみ
田中 愛珠さん

①槍^{やり}鉋^{かん}は、難しくて大変でした。②秋岡芳夫さんが木で竹とんぼを作るなどいろんな道具を作ったことに驚きました。③風穴や鹿の子沢には初めて行きました。山に登ったことはなかった

ので、クマがでないか怖かったけれど、楽しかったです。④置戸の人たちは結構知り合いで優しく親切です。⑤5年生の時から向山先生が来てくれて慣れているので、中学校へ行っても心配じゃないです。⑥算数とか難しくなって、授業についていけるか心配ですが、勉強を頑張ります。運動会や修学旅行が楽しみです。

令和4年度 まちのお金の使いみち

本年度の予算の概要と事業についてお知らせします。

笑顔と夢を未来につなぐまちの実現へ

現在、本町の財政状況は、財政の健全化を示す「実質公債費比率（R2決算～6.9）」や「将来負担比率（R2決算～なし）」から判断すると、健全性が維持されていると言えます。

国における令和4年度の地方財政対策では、地方交付税等の一般財源総額が昨年度を上回る額で確保されたことから、本町に対する地方交付税も維持が見込まれると判断されるところです。近年は、農業所得の伸びが見られるものの、今後一層進むことが予想される人口減少やコロナ禍による経済への影響が見通せない状況からも、自主財源の乏しい本町にとっては、財源確保は厳しい状況にあります。

昨年度から、ふるさと納税返礼品を導入し、今日までに町内外の方から1,300万円を超えるご寄附をお寄せいただいています。令和4年度予算においても、ふるさと納税を通じた町のPR費用も含めた予算を計上し、自主財源の確保に努めていきます。

住民ニーズの多様化、高齢化、物価の上昇から物件費や扶助費、公共施設の老朽化による維持管理経費などは近年増加傾向にあります。

投資的経費においては、橋梁長寿命化事業や道路の改修、町営住宅改修など町民生活に直結したインフラに対して計画的な改修が必要となっています。

本町の財政事情を認識した上で、長期的な視点による持続可能な財政運営を基本に据え、経常経費の歳出抑制や優先度・緊急度の高い事業の選択と重点化を念頭に、歳入の確保に努めた予算編成となりました。

一般会計は47億7,000万円を計上し、前年度当初予算との比較では、3億7,000万円、8.4%増の予算となりました。

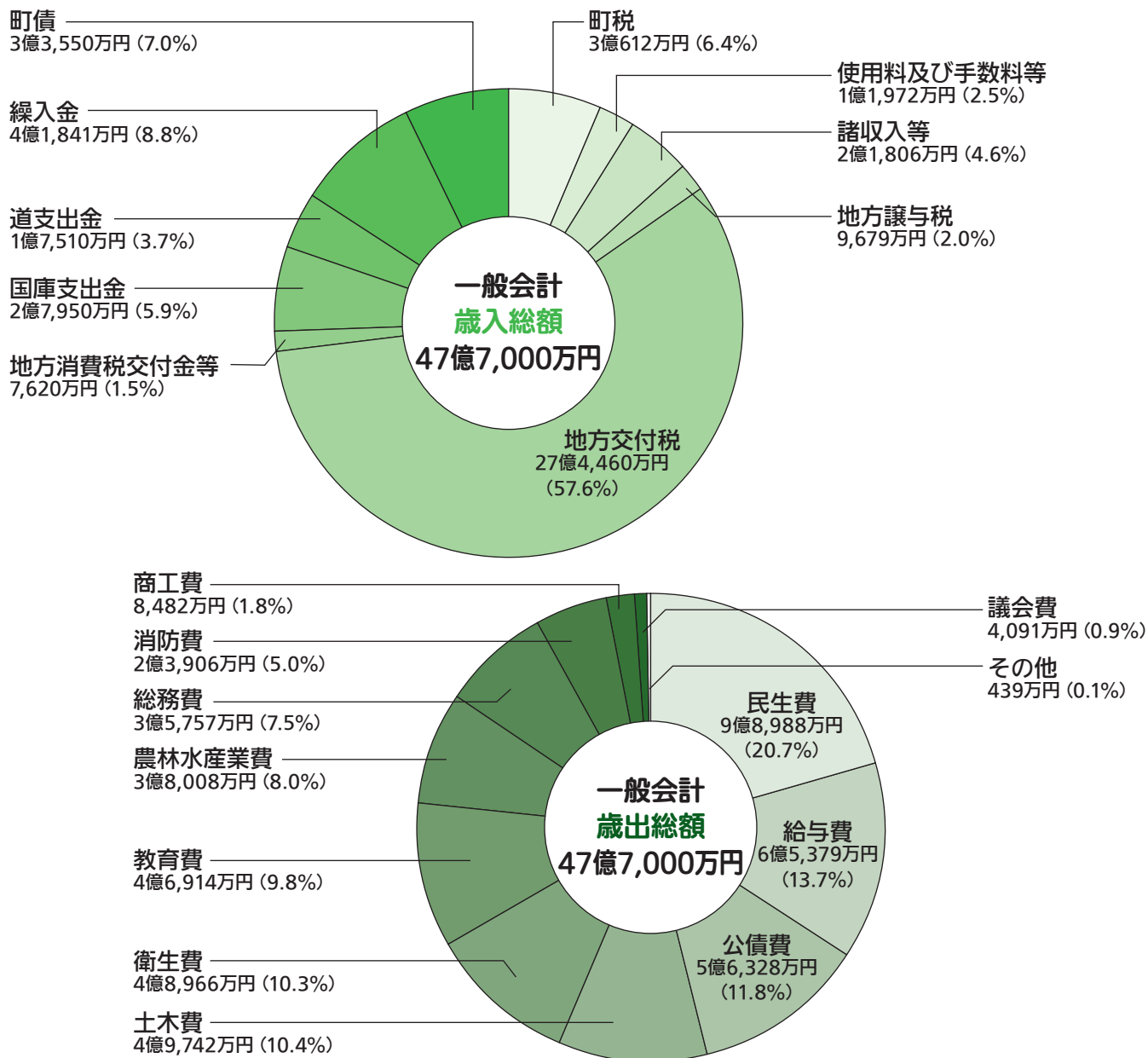
特別会計は、簡易水道特別会計で令和元年度に終了した簡易水道の再編推進事業で借入れした町債の償還が今後ピークを迎えます。また、計装設備及び水道管取替工事を実施することから3,910万円、13.4%の増額となっています。

介護サービス事業特別会計では、特別養護老人ホームの修繕・工事、システムの改修費用を計上し530万円、24.1%の増額となっています。その他の特別会計では、ほぼ前年並みとなりました。

一般会計と6特別会計を合わせた新年度予算の総額は、前年度当初予算比6.7%増の62億1,220万円となりました。

会計別の予算

会 計 名	令和4年度予算	令和3年度予算	前年度対比
一 般 会 計	47億7,000万円	44億円	8.4%
国民健康保険特別会計	4億6,120万円	4億8,240万円	△4.4%
後期高齢者医療特別会計	6,130万円	5,880万円	4.3%
介護保険事業特別会計	3億6,160万円	3億6,960万円	△2.2%
介護サービス事業特別会計	2,730万円	2,200万円	24.1%
簡易水道特別会計	3億3,060万円	2億9,150万円	13.4%
下水道特別会計	2億20万円	1億9,510万円	2.6%
計	62億1,220万円	58億1,940万円	6.7%



■歳入のあらまし

町税は、新型コロナ対策事業の効果も一定程度現れていることや農業所得の伸びを見込み、前年度比5.7%増の3億612万円を計上。地方交付税は、7.3%増の27億4,460万円を計上。うち普通交付税は、前年度交付額と同水準を見込み、25億1,800万円を計上。交付税の振替措置である臨時財政対策債との合計では、6.4%増の25億4,360万円を計上。特別交付税は、置戸赤十字病院医療施設充実分、地域おこし協力隊員の増員分の増額を見込み、2億2,660万円を計上。国庫支出金は、本年度工事に着手する常盤地区営農用水施設の改修に対する交付額の増額や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業により26.7%増の2億

7,950万円の計上。寄附金は、ふるさと納税を含めて昨年同水準の2,056万円を計上。繰入金は、財政調整基金より1億8,000万円、減債基金より2億円を繰り入れし、森林環境譲与税を財源とした未来への森づくり基金繰入金を含めて、32.4%増の4億1,841万円を計上。諸収入は、町所有のパワーショベルの更新に充てる北海道市町村備荒資金組合超過納付還付金など9.6%増の1億6,293万円を計上。町債は、過疎対策事業債が2億5,740万円、緊急防災・減災事業債などその他の起債が計5,250万円、臨時財政対策債2,560万円を合わせて3億3,550万円を計上。令和4年度末の町債残高は、現時点で47億73万円を見込み。

■歳出の主な事業・経費は次ページへ

令和4年度の主な事業・経費

くらし
応援

定住・住環境対策制度の拡充

定住・住環境対策として、森と住まいの支援事業・住宅改修補助事業・空き家利用促進補助事業を継続し、元気だすべ事業として移住後3年以内の方の住宅取得支援として、移住応援金100万円と合わせて1,630万円を計上しました。

地域
活性化

地域おこし協力隊の任用

地域おこし協力隊は、現在活動中の4名に加えて、4月より新たに4名の採用を予定し4,648万円を計上しました。

高齢者
福祉

老人ホーム運営の支援

社会福祉協議会と本年度から10年間の新たな指定管理協定を締結した老人ホームの運営体制を継続的に支援するため、指定管理委託料9,270万円を計上しました。

養護老人ホームのシステム改修費、避難経路の改修工事、食堂へのエアコン設置工事に1,680万円を計上しました。

町外の医療機関にバスなどを利用して通院をされている方への交通費助成に193万円、高齢者等住宅改修助成に150万円を計上しました。

子育て

医療費助成制度の拡充

保育環境の充実を図るために認定こども園に対して、運営費補助とともに副食費（おかず代）無償化に対する助成を継続していきます。

本年8月からは、18歳までの子どもの医療費の自己負担をなくすために医療費助成制度を拡充し、780万円を計上しました。これに伴い、従来実施していた自己負担分の医療費を金券発行で還元する健やか子育て応援事業は、制度移行することから7月で終了します。

健康
づくり

置戸赤十字病院への支援

各種検診や予防接種への助成、妊婦及び産婦への一般健康診査への公費負担や交通費の助成、産婦及び乳児への産後ケアなど、従来どおり継続して実施します。

関係医療機関との連携を強化し医療体制の更なる充実を図るため、置戸赤十字病院への助成を拡充し、1億4,000万円を計上しました。

産業
農林業

農業・林業の支援対策推進

農業関係では、道営事業として生産性の高い農業実現のため、基幹農道整備事業に1,269万円、拓実北地区及び南地区の農地整備事業に1,869万円を計上しました。団体営事業として常盤地区の営農用水施設改修は、本年度から本工事に着手するため4,800万円を計上しました。

本年度から始まる公社営による草地畜産基盤整備事業の草地整備改良委託料に1,302万円を計上しました。また、収穫作業の効率化にむけた小麦収穫機械の導入事業補助金として700万円を計上しました。

造林事業では、3,083万円を計上し、下刈りや除間伐などの実施により町有林の整備に努めます。森林環境譲与税を財源とした基金事業も含めて、森林経営管理委員会での議論を進め、計画的な森林整備とともに林業総体の担い手育成と確保、森林環境保全の維持に努めます。

商工
観光

勝山農村公園のRVパーク、Wi-Fi環境整備

商工関係では、継続事業である空き店舗の改修及び既存の店舗改修事業と元気だすべ事業として、町内に居住し、起業される方への起業応援金100万円と合わせて、700万円を計上しました。引き続き、過疎化による商店街の空洞化を防ぎ、商工業の活性化を図ります。

観光関係では、おけと勝山温泉ゆうゆの運営の安定化支援のため指定管理委託料1,130万円を計上しました。隣接する勝山農村公園には、RVパークの整備及び公園内のトイレ改修工事と勝山温泉を含めたWi-Fi環境の整備に2,650万円を計上しました。

温泉利用促進事業による入浴料割引の継続と合わせて、町内外の皆さんに足を運んでもらえる憩いの場所となるよう支援していきます。

道橋

予防的修繕で安全なまちへ

土木関係では、町道置戸川南境野線の改修工事に3,000万円、橋梁の老朽化対策のために策定した長寿命化修繕計画に基づき、橋梁点検費用530万円と日の出橋修繕工事に6,200万円、置戸市街地の排水管移設工事に1,200万円、町道秋田留辺薬線の擁壁改修工事に1,200万円を計上しました。

災害時のインフラ確保や維持作業の効率化のため町所有のパワーショベル更新費として1,850万円を計上しました。

消防

町民の安全・安心の確保

防災関係では、避難所として利用される秋田地区住民センターに災害等による停電時の電源確保のための電源切替装置設置工事に200万円を計上しました。

消防関係では、水槽付消防ポンプ自動車の更新に5,373万円、現有消防車両の運用端末更新に982万円を計上しました。

消防団員の火災現場での活動強化のため男性団員用防火衣の更新に426万円を計上しました。

学教

置戸高校支援継続

学校教育関係では、置戸高校の通学生に対する各種支援や福祉科のPR活動を継続して行うため1,350万円を計上しました。小学校では、老朽化した舞台吊物装置取替工事に1,370万円、屋根改修工事に1,710万円を計上しました。

学校給食関係では、安全安心な給食の提供を図るため、調理室の食材保管用のプレハブ冷蔵庫更新工事に200万円を計上しました。

社会教育
社会体育

秋田地区住民センター屋根改修

公民館関係では、秋田地区住民センターの屋根改修工事に800万円を計上しました。旧勝山寿の家の解体工事に1,050万円を計上しました。

社会体育関係では、水泳プールの配管改修工事に440万円を計上しました。

コロナ
対策

各種新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業を当初予算に盛り込みました。特別会計での事業、負担金事業も含め、総額3,605万円を計上しています。

●役場庁舎1階相談室の改修事業●町のプロモーション映像及びPRパンフレット製作事業●養護、特別養護老人ホームの食堂など空調（エアコン）設置事業●温泉施設利用促進事業●オケクラフト活用支援事業●消防庁舎電子錠設置事業●中央公民館ミーティングボード購入事業など

介護
サービス

特別養護老人ホーム改修整備

介護サービス事業特別会計では、特別養護老人ホームのシステム改修費、ホール及び食堂へのエアコン設置、保温機能付き配膳車の更新に、合わせて1,610万円を計上しました。

水道・
下水道

秋田浄水場計装設備更新

簡易水道特別会計では、秋田浄水場の計装設備の更新に3,150万円、境野高台地区の水道管取替工事に4,500万円を計上しています。

下水道特別会計では、下水道整備計画の基礎となるストックマネジメント基本計画策定業務に1,280万円を計上しました。

公営企業会計法適用に向けたシステム改修費用として簡易水道特別会計に660万円、下水道特別会計に560万円を計上しました。

■まちの財政計画や予算については、企画財政課財政係までお問い合わせください。
(☎52-3312)



置戸町行政ポイントを知っていますか？

行政ポイントを貯めて、加盟店でお買い物に

町が行う各種事業に参加された方や、行政サービスを利用された方に対し、「行政ポイント」を進呈します。（下記一覧のとおり）

この行政ポイントは、「ラポラカード」に付与し、「1ポイント」は「1円」として加盟店で利用できます。



■行政ポイント進呈の流れ

- 1 ラポラカードを持って、対象事業に参加。
- 2 端末機器により行政ポイントを進呈。または行政ポイント預かり券（レシート）をもらう。
- 3 預かり券（レシート）をもらった場合、ラポラカードと預かり券を持って、置戸町銀河スタンプ加盟店等に行く。
ラポラカードにポイントが進呈される。

※預かり券（レシート）の有効期限は1か月です。
※ラポラカードは、役場産業振興課または商工会で発行できます。

事業名	担当係	付与ポイント
①暮らしに関すること		
出 生	住民年金係	500
婚 姻	住民年金係	500
転 入	住民年金係	500
②子育てに関すること		
ひよこクラブ 参加	健康推進係	30
マタニティスクール 参加	健康推進係	30
③健康づくりに関すること		
特定・各種検診事業 受診	健康推進係	50
ゲートキーパー養成講座 受講	健康推進係	30
献 血	健康推進係	30
保健委員研修会 参加	健康推進係	30
フッ素塗布	健康推進係	30
成人歯科指導	健康推進係	30
いきいきライフフェスティバル 参加	健康推進係	50
スポーツセンター運動指導 参加	社会体育係	20
サイクル駅伝 参加	社会体育係	50
ミニバレー 参加（1リーグ）	社会体育係	50
スキー大会 参加	社会体育係	50

事業名	担当係	付与ポイント
④福祉に関すること		
認知症サポーター養成講座 受講	包括支援係	30
家庭介護講座 受講	包括支援係	30
⑤防災・救急啓発に関すること		
普通救命講習 受講	消防置戸支署	50
一般救命講習 受講	消防置戸支署	30
⑥支え合い・助け合いに関すること		
町民憲章推進大会 参加	住民生活係	50
⑦生涯学習に関すること		
おけと大学 出席	社会教育係	30
郷土資料館（来館） 1年に1回のみ	社会教育係	50
町民文化祭 出演・出展	社会教育係	30
町民文化祭 来場	社会教育係	10
新春文芸大会 出品	社会教育係	30
森林工芸館モノづくり 参加	森林工芸館	50
どま工房企画展示会 来場	森林工芸館	30
図書館（来館）	図 書 館	2

■お問い合わせ 産業振興課商工観光係（☎52-3313）



菅原治司さん、緑十字銀章を受章

長年にわたり地域の交通安全活動に尽力したとして、町交通安全協会会長の菅原治司さんが、警察庁長官と全日本交通安全協会会長の連名で贈られる交通栄誉章「緑十字銀章」を受章しました。

菅原さんは昭和56年から町交通安全協会理事、平成15年より同協会副会長を経て、平成25年から同協会会長と北見交通安全協会副会長に就任。現在まで活動を続けています。

3月4日、北見市内の交通安全研修センターで伝達式が挙行政され、菅原さんと妻の明美さんが臨席。菅原さんに北見警察署長から表彰状と褒章が授与されました。続いて、長年の交通安全活動を支えてきた明美さんに対して、全日本交通安全協会より感謝状が贈られました。



知っていますか？ マイナンバーカード

マイナンバーカードは、オンラインで確定申告などの行政手続きや民間サービスの本人確認書類として利用することができます。マイナンバーカードを取得するためには、スマートフォン・パソコン・証明用写真機・郵便の4つの方法で、申請手続きができます。

マイナンバーカードを新規取得した方などに対して、キャッシュレス決済サービスで利用できるポイントを付与するマイナポイント第2弾を実施しています。詳しくは、QRコードからご確認ください。



マイナンバーカード



マイナポイント第2弾

- マイナンバーカードの申請について
町民生活課住民年金係（☎52-3315）
- マイナポイントについて
企画財政課地域情報係（☎52-3312）

まちづくり月記

置戸町長 深川 正美

先月の定例町議会において、事務事業の見直しや拡大、新規事業を盛り込んだ総額62億円超の令和4年度予算案等を提案どおり可決いただきました。人事も刷新し、新年度の行政運営を進めてまいります。

さて、連日ロシア軍侵攻によるウクライナ国民の悲惨な映像に心を痛めている方も多いと思います。「不幸のない社会」を目標としてまちづくりを進めてきましたが、罪のない子どもや一般市民が死傷する映像を見て、戦争は人間がつくる最大の不幸だと思い知らされます。遠い国の出来事ではなく、隣国が当事者で核を人質にした戦争です。3月議会では、町民の総意として、この暴挙を断じて許さず、軍事即時撤退と平和的解決を求める決議案を議決。決議書はロシア領事館に送付されました。

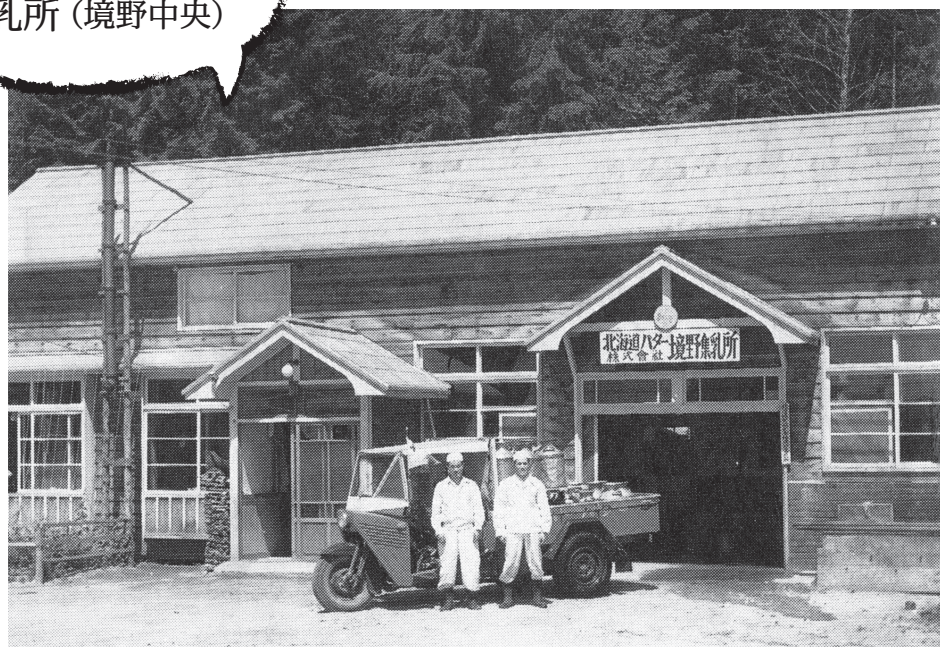
若い頃、春闘の集会で学校の先生が「二度と戦場に教え子を送ってはいけない」と大きな声で叫んでいた姿が思い出されます。一つの町の小さな声も世界中の声となれば、この不幸を止めることができると信じます。

今月号より広報おけとの発行日が変更となりますが、ご自宅のテレビで災害情報やお知らせを確認できる、地デジ放送による広報サービスの利用を始めます（開始時期は、改めてお知らせします）。従来の情報メールおけとやホームページも活用し、タイムリーな情報発信を行ってまいります。おけとの野山に黄色の福寿草が春を告げるころ、新入学や転勤など新生活が始まります。私も心機一転、3年目のまちづくりに取り組んでまいりますので、皆さまのご理解ご協力お願い申し上げます。

あゝ頃

— 写真で語る
おけと —

近年何かと話題になる乳製品。今回は置戸の牛乳に関するエピソードを紹介します。



昭和30年ごろの
集乳所（境野中央）

戦後、置戸の酪農は飼料や労働力が不足し衰退の一途を辿っていました。しかし貸付牛制度が昭和25（1950）年に始まったことで次第に飼育頭数を増やしていき、当時130余頭だった頭数から10年後には千頭を突破するまでに至りました。町内の牛乳業者を見てみると、細川氏が個人で初めて処理場の認可を受け、昭和24（1949）年から15年間飲用牛乳の生産販売を行いました。また、拓実集落が「八円牛乳」という宣伝文句で格安の牛乳を販売し価格競争に乗り出しましたが、採算割れが続いたため長くは続きませんでした。

当時は国内でアイスやバターなどの乳製品が普及し始めたところであり、牛乳の需要が高まるにつれて企業による競争も激化していきました。置戸は北海道バター社（後の雪印）の集乳区域でしたが、森永が訓子府に工場を建設したことを皮切りに2社の集乳合戦が勃発。両社は地盤拡大に奔走し町内でも一部混乱が見られました。これにより生産者優遇競争も始まり酪農家にとってプラスの面もあったそうです。

（参考：置戸町史下巻）

※今回からこのコーナーは、学芸員の池田一登が担当します。

これから新型コロナワクチン 接種を希望される皆さんへ

新型コロナワクチン接種をまだ行っていない方、または、この春に置戸町へ転入した方など、これからワクチン接種（1・2回目、3回目）を希望される方は下記までご連絡ください。なお、4月以降、町内でワクチン接種を受けられる日程は限られます。希望される方は、お早めにご連絡ください。

■連絡先 新型コロナワクチンコールセンター
（☎52-3188 平日 午前9時～午後5時）

置戸の情報をインターネットでチェック！



人と、木と、おけと



ホームページ



YouTube

編集後記

☆今月号から「広報おけと」は、「まちのおしらせ」と一緒にお届けします。なお、人口動態は先月号と重複するため掲載しておりません。ご了承願います。☆長らくお付き合いいただきました広報担当ですが、今月号をもってラストとなります。これまで学んだことを糧に今後も精進していきたいと思いますので、よろしくお願いします。皆さん大変お世話になりました。 (祐)

■今月号の表紙：3月15日、置戸中学校卒業証書授与式。教室の黒板アートは先生の力作です。置戸町で学んだことを忘れずに新しい道へ。期待と不安を胸に力強く一歩踏み出す君、私たちはふるさとから応援しています。